

## 日本とカンボジアで都市・地域開発について知識・経験を共有 ～「日・カンボジア官民都市開発ワークショップ」の開催結果～

国土交通省は、2月16日にカンボジア・プノンペンにおいて、日本とカンボジアの両国による官民都市開発ワークショップを開催しました。

同会議では、両国政府及び日本企業より、都市・地域開発について発表がなされ、知識や経験を共有するとともに、このような分野における協力関係を継続していくことを確認しました。

国土交通省では、都市開発分野における「質の高いインフラ」投資を促進するため、カンボジアにおけるインフラ整備の促進と都市・地域開発に関する日本の知識・経験の共有を目的として、カンボジア国土管理・都市計画・建設省との共催で、日・カンボジア官民都市開発ワークショップを開催しました。

今回のワークショップの概要は、以下のとおりです。

1. 日時 平成 28 年 2 月 16 日（火）
2. 場所 カンボジア、プノンペン（国土管理・都市計画・建設省内）
3. 議題
  - カンボジアの都市開発に係る政策、計画、手続等についての説明（国土管理・都市計画・建設省）
  - 日本の都市・地域開発の経験やこれに係る政策、法制度等の説明（国土交通省）
  - 観光都市シエムリアップの総合的広域開発の方向性についての提案（日本企業）
  - カンボジアの都市・地域開発上の課題等に関する意見交換
4. 参加者（日本側：約10名、カンボジア側：約60名）
  - （日本側）国土交通省（国際統括室 中見 国際建設産業企画官 他）  
日本企業4社
  - （カンボジア側）国土管理・都市計画・建設省（ソパル次官（土地管理・都市計画担当） 他）、  
シエムリアップ州政府、APSARA 機構等
5. 結果概要

ワークショップに先立ち、国土管理・都市計画・建設省イム上級大臣を表敬し、同大臣より、両国の協力によるワークショップの開催について歓迎の意が表されました。

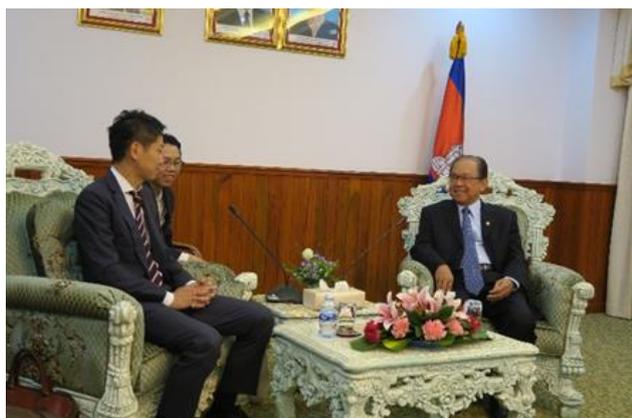
ワークショップにおいては、カンボジア国土管理・都市計画・建設省から、同国の都市開発に係る政策、計画、手続、組織、予算等について説明がなされ、土地利用に関する全国計画や土地管理・都市計画法案、建築基準法案等を策定中であることが報告されました。

また、日本側から、国土交通省が都市・地域開発の経験やこれらに係る政策、法制度等について説明するとともに、日本企業が同国の観光都市シエムリアップを例として、我が国の経験を活かした総合的広域開発の方向性について提案を行いました。

これらの意見交換を通じて、都市・地域開発に関する知識や経験を共有するとともに、同分野における協力関係を継続していくことを確認しました。



<会議の様相>



<国土管理・都市計画・建設省イム上級大臣 表敬>

<問い合わせ先> 国土交通省総合政策局国際政策課(グローバル戦略) 岸田、芝原  
 電話 03-5253-8111(内線 25206、25216)、直通 03-5253-8316  
 FAX 03-5253-1562